

第9回シンボルロード管理運営を考える会議

グループワーク発表内容（グループ毎の発表内容）

Aグループ

- ・イベント開催をする場合、植物があるエリアとないエリアでの区分けが必要。
- ・個人で自由に過ごせる憩いの場がほしい。
- ・一般の方が自由に行える蚤の市や楽器演奏ができれば良い。
- ・樹木や希少種の保護をしながら、イベント開催をどうかみ合わせていけばよいか考える必要がある。
- ・犬にやさしい場としていきたい。
- ・スポーツイベントの大規模なイベントを開催する場合は申請方法、申請窓口、責任者、禁止事項の周知、明確にし、安全管理を徹底していきたい。

Bグループ

- ・「朝霞市イベント」でインターネット検索をすると良いのがでてこない。
- ・朝霞市を特徴づけるものを生み出す。そういう視点が必要である。
- ・ダンスイベントを実施したい。
- ・キッチンカーを毎週出す。
- ・常設または仮設のイス等を設置したい。
- ・ダンスイベントやキッチンカー、物販など複合的にイベントを開催することで盛り上がっていく。
- ・キッチンカーだけでは、人の滞留時間が少ない。
- ・ダンスは発表する場が少ない、イベント同日開催時の集客の柱になりうる。
- ・ゴミの問題はキッチンカーの売り上げの一部を清掃活動にあてたり、キッチンカー設置者の清掃活動をルール化したら良い。
- ・シンボルロードは人が増えてくると希少種が踏み荒らされてしまう。対応策を検討していきたい。

Cグループ

- ・子供の居場所として青空児童館を行いたい。
- ・ツリーハウスや、スケボー、自然学習などが出来ればよい。
- ・常設のカフェがあると良い。
- ・ガソリンの発電機をつかわず、電源を使用するルール化を行うと良い。
- ・防災訓練を常設カフェと連動する等しながら実施したらよいと思う。
- ・市民みんなで作っていく花壇を設置したらどうか。
- ・音楽コンサートができるようになったら良い。

Dグループ

- ・子供の遊び場として活用したい。
- ・人生の先輩から話を聞く場にしたい。
- ・意外と現状でいいという意見もあった。自然を保ち、希少種や在来種を保護する。
- ・休めるベンチがもうすこしあったら良い。
- ・BMX やスケボーを行いたいとの要望があるので実現できれば良い。

第9回シンボルロード管理運営を考える会議

- ・音楽コンサートを開催できたら良い。
- ・誰がどうやって使えるのかを皆知らない。使用したい者にレクチャーや調整していける窓口が必要ではないか。朝霞の森運営委員会のような組織形態が有効ではないかと思う。
- ・在来種そのものだけを守るのではなく周囲の環境も含めてまもらなければならない。
- ・守るという意識をもつためには、市民がまず魅力を知る必要がある。そのためには、市が広報活動に力を入れる必要がある。
- ・人生の先輩から学ぶ、世代間交流しながら守る意識が育まれていくのではないか。
- ・現状のルールを教えてもらうことも大事だが、例えばスケボーを行うためにはどうすればよいか、当事者が考えていくことが大事だと思う。
- ・シンボルロードだけが良くなっても違う。他の地域も良くなってほしい。

E グループ

- ・森を守る意識がほしい。
- ・朝霞市は自然がとても豊か、自然は生活に近いものである。
- ・草刈りのイベントや枯れ木の伐採をした後、たい肥にしたり、落ち葉を使ってやきいもをしたり、無駄なくサイクルを回していくと良い。
- ・火気使用の際はアスファルトのみに絞る等のルールを守ることが大事である。
- ・子供から大人へ、市民全体へ森を守る活動をひろげていきたい。

F グループ

- ・そもそも何かを行いたいときにルールが多すぎる。
- ・マナーとして考えていくことが大事。
- ・小さい団体が使いやすくなるよう使用料の問題や駐車場の問題、来訪しやすくするための仕組み作りが必要である。
- ・見守りをする仕組みを市が検討してほしい。
- ・仕組みは市、希少種の保護や芝生の維持、近隣に対するマナーなどを市民が考えていけばよい。